

相模原市立博物館

勝坂遺跡発見 90 周年記念事業



大山柏の調査で出土した顔面把手
(勝坂式土器の特徴のひとつ)

今年、^{おおやまかしわ}大山 柏（明治期軍人として名高い^{いわお}大山 巖の次男）が、現在の南区磯部の勝坂で、大正 15 年（1926）10 月 3 日に発掘調査を行ってからちょうど 90 年となります。

そこで、相模原市立博物館と市教育委員会文化財保護課では、勝坂遺跡発見 90 周年記念事業を実施します。

相模原市立博物館では、次のとおりミニ展示と記念講演会を開催します。

みなさまのご来館をお待ちしています。

勝坂遺跡発見 90 周年記念ミニ展示

「大山柏公爵の勝坂遺跡初調査」

期間：平成 28 年 10 月 1 日（土）～12 月 28 日（水）

（開館日の開館時間中はいつでもご覧いただけます）

*ただし、11/3 は史跡勝坂遺跡公園で行われる「勝坂遺跡縄文まつり」に出張展示します。

場 所：常設展示室

展示物：大山史前学研究所所員が使っていた発掘・測量道具
昭和 2 年刊行の勝坂での発掘調査報告書（初版本）
大山柏が発掘した畑の所有者の当時の日記
勝坂遺跡出土の勝坂式土器・打製石斧など



大山 柏（1889～1969）

本来は父同様に陸軍軍人。父から公爵・貴族院議員を継承。ドイツ留学時に先進的な考古学を学び、その後考古学方面の活動に本格的に取り組んだ。

勝坂遺跡発見 90 周年記念講演会

「縄文人は植物を栽培したのか？」

日時：平成 28 年 10 月 23 日（日）午後 2 時から 4 時

場所：大会議室 定員：200 人（先着順）

講師：国立歴史民俗博物館 准教授 工藤雄一郎氏

内容：大山柏は勝坂遺跡で発掘をもとに縄文農耕について言及しています。その縄文農耕論の話を導入に、縄文時代中期の環境、植物利用や、勝坂と他地域との比較などについてお話しします。

*文化財保護課でも、同記念事業として史跡勝坂遺跡公園にて、10 月 9 日（日）に明治大学阿部芳郎教授の講演会、11 月 3 日（祝）に勝坂遺跡縄文まつりを開催します。